

平成29年度県立高等学校入学者選抜学力検査

国語

■ねらい、出題の内容、今後の学習指導のために

一 言語事項に関する問題

【ねらい】

中学校までに学習した漢字と文法を出題し、国語の特質に関する事項についての理解度、定着度をみる問題です。

【出題の内容】

- 1 漢字の書き取りに関する問題です。
- 2 動詞の活用に関する問題です。

【今後の学習指導のために】

語彙を豊かにすることは国語の基本です。漢字に関する事項と言葉の特徴やきまりに関する事項について、基礎的な力を身に付ける指導が求められます。

二 韻文・詩

【ねらい】

詩と鑑賞文を提示し、一つ一つの語句に注意して読む力と鑑賞力をみる問題です。

【出典】

川崎洋「森」

【出題の内容】

- 1 詩についての鑑賞文をもとに、詩の表現の特色に気づき、情景を読み取る問題です。
- 2 詩についての鑑賞文をもとに、詩の内容を読み取る問題です。
- 3 表現の技法についての基本的な知識をもとに、詩の内容を読み取る問題です。
- 4 詩についての鑑賞文をもとに、詩に込められたものの見方や考え方を読み取る問題です。

【今後の学習指導のために】

韻文の指導の際には、言葉に込められたイメージを読み味わい、作者の思いや情景を読み取る力を養うことが大切です。一つのテーマを決め、複数の作品を関連付けて指導することも有効です。

三 古典

【ねらい】

基本的な古典の読解を通して、基礎的な知識や読解力をみる問題です。

【出典】

漢文「荀子」 古文「徒然草」

【出題の内容】

- 1 漢文訓読の仕方について理解しているかどうかを確認する問題です。
- 2 古典の基礎である歴史的仮名遣いの問題です。
- 3 古文・漢文及び話し合いの内容をもとに、内容の理解を確認する問題です。

【今後の学習指導のために】

古典においても、話の展開や内容を根拠を持って読み取る力を身に付けさせることが大切です。古文・漢文の音読などを通して、伝統的な言語文化に親しむ態度を育てることも必要です。

四 文学的文章

【ねらい】

文学的な文章の読解を通して、場面の展開や心情の変化を読み取る力、表現力などをみる問題です。

【出典】

土橋章宏「スマイリング！ ——岩熊自転車 関口俊太」

【出題の内容】

- 1 漢字の読み方に関する問題です。
- 2 情景描写によって表現された内容を適切に読み取る問題です。
- 3 登場人物の心情について、本文全体を通読した上で根拠となる内容を適切に読み取り、定められた字数でまとめる問題です。
- 4 本文全体を通読した上で根拠となる内容を適切に読み取ることを通して、登場人物の心情についての理解を確認する問題です。
- 5 登場人物の会話から、その言葉に込められた複数の心情を適切に読み取る問題です。
- 6 登場人物の会話における二つの言葉から共通点を見つけ出すことを通して、登場人物の心情についての理解を確認する問題です。

【今後の学習指導のために】

文学的文章の読解の指導では、人物の動作や会話、情景描写などを根拠に登場人物の心情を正しく読み取る力を身に付けさせることが求められます。さまざまな表現の効果について十分に読み味わうことも大切です。また、授業において、朗読や感想の交流などの言語活動を充実させたり、表現上の差異を考えさせたりすることも求められます。

五 説明的文章

【ねらい】

説明的文章の読解を通して、論理的な思考力や読解力をみるための問題です。

【出典】

西垣通「ビッグデータと人工知能」

【出題の内容】

- 1 漢字の読み方に関する問題です。
- 2 単語の意味・用法に関する問題です。
- 3 文章全体における、ある段落の働きを確認する問題です。
- 4 キーワードの理解を確認する問題です。
- 5 対立する内容について根拠を明確にして比較し、違いを整理する力を確認する問題です。
- 6 文章全体から根拠を見つけ、筆者の意見を把握する力を確認する問題です。

【今後の学習指導のために】

説明的文章を読解するには、論理の展開を把握し、文章の要旨をとらえる力を身に付けさせることが求められます。また、読み取った内容を的確に表現する力も求められており、「読むこと」と「書くこと」のバランスのとれた指導が望まれます。

六 条件作文

【ねらい】

非連続型テキストに表された年代別の特色を比較し、年代ごとの違いを正確に読み取った上で、それに対する自分の考えや意見を明確に書くことを通して、論理的な思考力や表現力を総合的にみる問題です。

【出題の内容】

グラフから読み取ったことを書き、それに対する自分の考えや意見を述べる問題です。

【今後の学習指導のために】

連続テキストや非連続テキストについて内容を読み取り、そこに表されている事実や自分自身の知見を根拠として自分の考えや意見を書く力を身に付けさせる指導が望まれます。

■まとめ

国語を適切に表現し正確に理解する能力の育成のためには、まず基礎的・基本的事項の確実な習得が求められます。そして、「話す・聞く」「書く」「読む」という各領域相互の関連を図り、言語活動の充実に努めながら、計画的に指導することが大切です。

■正解（次頁）

■正答率・部分正答率（％）

番号	大	一					二			
	小	1				2	1	2	3	4
		(1)	(2)	(3)	(4)					
正答率		97.5	91.0	82.0	39.2	21.0	79.9	89.1	81.6	36.7
部分正答率										

番号	大	三				四							
	小	1	2	3		1		2	3	4		5	6
				(1)	(2)	A	B			(1)	(2)		
正答率		74.6	84.7	23.7	29.6	95.8	96.6	67.3	6.9	45.5	73.2	80.9	1.5
部分正答率				21.0					38.6				17.8

番号	大	五						六		
	小	1		2	3	4	5		6	
		A	B				(1)			(2)
正答率		93.3	90.6	37.5	64.4	47.6	2.3	63.9	5.9	8.2
部分正答率							30.2		25.4	75.7

